

令和8年度 6月号

台東区立富士幼稚園
園長 足立 祐子
台東区浅草 4-48-18
電話 3874-2460
fuji-yo@city.taito.tokyo.jp



ふようだより



豊かな会話とあいさつを

園長 足立 祐子

「おはようございます！」毎朝玄関で出迎えていると、子供たちの元気なあいさつに感心します。どの学級の幼児も、立ち止まって、目を見てあいさつが出来るようになってきました。そのうしろには、やはりしっかり立ち止まり、「先生、おはようございます。雨が降りそうですね。」「おはようございます。昨日はお疲れ様でした。」「おはようございます。うちの子は風邪気味の様で、今朝はなかなか起きられませんでした。」と、挨拶をし、話しかけて下さるお家の方の姿がありました。子供たちも同様に、「おはようございます！昨日の遊び楽しかったね！」「おはようございます。歯が抜けたの！見て見て！」というキラキラとした笑顔がありました。私を含め、先生たちはその話に耳を傾け、会話をしながら一人一人のその日の様子や、前日の経験を受け止めていきます。そして、喜びや発見を共感したり、そのことを保育につなげたりしていくように努めています。

小学校以降の学力の基礎になる事のひとつに、『豊かな会話』『親子のコミュニケーション』ということが挙げられます。日々の生活の中でどれだけの心地よい会話が交わされるかということが、人と話す楽しさを感じることに繋がっていきます。文字が読めるか、書けるかということにつながる大切な段階として、あいさつや会話をどんどん楽しめるよう、大人の方も、心掛けて声を出していくようにしましょう。

6月の発見・・・

「いよいよ6月、梅雨の時期に入ります。雨天が続くと気分も沈みがち・・・と思いきや、園児はみな、空を見上げて元気に園庭に飛び出しそうになります。この季節の雨は、子供にとっては心地よい空からのシャワーのように感じるのでしょうか。子供たちの声に耳を傾けていますと、「ねえ、雨がうたっているよ！」「ほんとだ、うたってるね！」「ジャングルジムに雨が(水滴が玉のように)ぶら下がってるね！」「葉っぱの上で雨が踊ってる！」と、素敵な会話がたくさんあるのです。地面に当たる雨の音に耳を傾けて、その音を『雨の歌』と表現している姿など、大人が忘れかけている素敵な表現ですね。自然が私たちに伝えてくれること、また、それを受け取る感性の素晴らしさを改めて感じた一瞬でした。

保育の中では・・・

3歳児の雪組では一緒にダンスや体操、絵本を見る機会を増やし、「先生と一緒に楽しい」と感じられる“みんなでする活動”も大切にしてきました。また、一人一鉢のミニトマトの栽培をします。4歳児の花組は、学級として育てている夏野菜や親子栽培のピーマンやポップコーン、つるありインゲンの生長を見つめながら、様々な発見や感動を共感できるようにしていきます。5歳児月組は、一人一鉢のナスの他、様々な野菜の栽培を行います。収穫までの長い期間の活動を通して、「自分で育てた」「みんなで育てた」という感動を味わって欲しいと願っています。

また、月組では5月の後半、お祭りの経験を生かして自分たちでも再現をして楽しみました。自分の体験したことや考えたことを出し合いながら、出店やおみこしを作る活動を楽しんでいました。地域でそれぞれの子供たちが体験したことを出し合いながら、力を合わせて活動に取り組む『協同的な活動』は、年長組の教育の中の大切なものです。それを見た3歳児4歳児は、またそれを共通の体験として真似をしていくことを楽しむことでしょう。

6月の姿が楽しみです！個々の充実があってこそ、集団の充実です。まずは、幼稚園で安心して生活する、しっかりと遊びこむことで、一人一人の力を伸ばしていきたいと思います。

